



## わくわく町探検 2年生

昨日(19日)2年生は、町探検を行いました。地域の様々な場所を訪問したり利用したりする活動を通して、地域の場所と自分との関わりを見付けていきました。お店や施設など14カ所に分かれ、見学したり質問したりしてきました。子供たちは、出発前から、「わたしたちは帯中に行きます!」などわくわくしていました。見学後は、伸びた心と感想を教えてもらいました。「👓:けがをしな



いで、お店の人とも仲良くなれたからです。」「👓:どっちの道に行くか迷ったとき、友達と助け合うことができたからです。」「👓:あいさつリーダーであいさつをしたら、ほめてもらったから。」「👓:町探検に行って、いろいろなことが知れて『わたしの町が大好き』に近づけたからです。」などと感想を述べ、初めて見たり初めて知ったりしたことに目を輝かせ、さらに地域の方々と接し、親しみをもったようです。子供たちは自分や友達の発見したことを交流していきながら、地域の様々な場所や人、出来事に気付いていくことで、さらに地域への愛着を深めていくことでしょう。今回は、学年活動も一緒に行われ、保護者の方々も子供たちの探検に同行していただきました。ご協力いただいたお店、施設の皆様、地域の皆様、保護者の方々、ありがとうございました。

## 谷川俊太郎さんの訃報に寄せて

昨日のニュース等で、谷川俊太郎さんの訃報のニュースが流れていました。私自身は、谷川さんの詩に大きく影響を受けています。中学校の頃に「朝のリレー」という詩に出会い、衝撃を受けました。「カムチャツカの若者が きりんの夢を見ているとき メキシコの娘は 朝もやの中でバスを待っている ニューヨークの少女が ほほえみながら寝がえりをうつとき ローマの少年は 柱頭を染める朝陽にウインクする」という詩を読み、頭の中で創



造力が膨らみ、自分も地球と一体となって、「経度から経度へと」地球を回っているような気持ちになっていました。世界への扉を開いてくれたのは、まさにこの詩との出会いで、谷川さんの詩を、自分なりの解釈でしっかりと受け止め、世界への強い憧れを膨らませた私は、世界を放浪することになりました。今の私自身の教育観の基礎を築いてくださった谷川さんに感謝すると共に、ご冥福をお祈りいたします。